GAP Japan 2012
－日本のGAPの今が分かる－

■企画目的

政府が策定した食料・農業・農村基本計画においてもGAPは農産物の安全を確保する中心的な取り組みに位置付けられ、その普及は農業界と流通業界の共通の課題となっている。
日本GAP協会はGAP普及のための非営利団体として、各方面のGAP普及の進捗について関係者の情報を共有することを目的として、シンポジウム「GAP Japan」を開催する。

■開催概要

主催：日本GAP協会
後援：農林水産省、日本フードシステム学会、日本農業普及学会、宮崎大学、日本農業法人協会
　　全国農業改良普及支援協会、日本政策金融公庫、全国肥料商連合会、日本プロ農業総合支援機構
　　日本食農連携機構、野村アグリプランニング＆アドバイザリー、農業技術通信社
協賛：アイアグリ株式会社、イーサポートリンク株式会社、株式会社つくば分析センター
　　日本環境科学株式会社
日時：2012年7月18日(水) 13時から17時
場所：東京大学　弥生講堂（東京都文京区弥生1-1-1 東京大学農学部内）

■講演等のスケジュール

基調講演　「農林漁業・農山漁村から日本を元気に」農林水産省 食料産業局長　針原寿朗

話題提供　「JGAPの今とこれから」 日本GAP協会　理事会

GAP普及大賞　表彰式と受賞者の記念講演

GAP普及大賞とは、一年間で最もGAP普及に貢献した取り組み事例を表彰するものです。

＜2012年GAP普及大賞 受賞＞

☆受賞事例（普及組織によるGAP普及の分野）農業改良普及センターが中心となった北海道・上川管内のGAP普及の取り組み
　受賞者：北海道・上川農業改良普及センターと担当普及指導員　伊與田 竜

☆受賞事例（流通企業との協業の分野）「セブンファーム」と「顔が見える野菜。果物。」のGAP普及の取り組み
　受賞者：株式会社イトーヨーカ堂と株式会社セブンファーム

☆受賞事例（資材関係者によるGAP普及の分野）創業113年 肥料商「日の丸産業社」による北海道のJGAP普及
　受賞者：株式会社日の丸産業社とJGAP指導員

6月28日に「GAP普及大賞 選考委員会」を開催し、3つの優良事例を表彰することを決定しました。
GAP普及大賞 選考委員：中嶋康博（東京大学教授）、上杉登（全国肥料商連合会）、岩元明久（日本GAP協会技術委員長）

トークセッション1　JGAP認証農場は、放射能問題といかに戦ったのか

コーディネータ：武田泰明（日本GAP協会 専務理事）
パネラー：JGAP認証農場　会津みずほ農場（福島） ユニオンファーム（茨城） 氏家農場（宮城）

話題提供　「JGAP　基準開発の最新動向」　日本GAP協会　技術委員会

日本GAP協会 技術委員会　および　事務局担当：横溝太郎、宮原義博
☆JGAP茶2012　☆JGAP穀物2012　☆JGAP団体2012　☆JGAP青果物2010（＋G）とGLOBALGAP　同等性認証について

トークセッション2　流通・小売業とGAP

コーディネータ：堅田義秋（青果物流通研究会 顧問 / 元・新潟中央青果常務取締役）
パネラー：恵本芳尚（日本GAP協会 理事）株式会社イトーヨーカ堂　青果部　シニアマーチャンダイザー
　田村浩至（日本GAP協会 技術委員）株式会社ダイエー　品質管理センター　チーフテクノロジスト
　野崎博延（日本GAP協会 理事）株式会社シジシージャパン　生鮮日配事業部長
　藤井滋生（日本GAP協会 理事）イオン株式会社　生鮮・デリカ改革チームリーダー

日本農業の応援団 JGAP
特定非営利活動法人（ＮＰＯ法人）日本ＧＡＰ協会
東京都千代田区紀尾井町3番29号　日本農業研究所ビル4階
TEL：03-5215-1112　FAX：03-5215-1113　http://jgap.jp

参加申込みはこちら
ＪＧＡＰ　検索
TEL：03-5215-1112